

令和2年7月17日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）について

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和2年7月17日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに196件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、12,881件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 数	196件 29都府県54市町村(区)	12,881件 47都道府県975市町村(区)

○時 代 別 (件)

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和	計
新規登録	24	55	37	80	196
累 計	2,280	4,084	2,620	3,897	12,881

○種 別 (件)

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	0	42	33	8	3	7	0	5	71	23	2	2	196
累 計	118	1,353	1,622	513	229	392	336	412	5,751	1,860	210	85	12,881

(件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	163	7	26	196
累 計	10,189	650	2,042	12,881

2. 今回の答申における主なもの

① 重厚な主屋をはじめ醸造関係の建物を多数残す

旧機那サフラン酒製造本舗主屋ほか9件 新潟県長岡市

薬用酒であるサフラン酒の製造施設。通りに面して石垣を築き，正面に主屋を建てる。主屋は表に二列六室，裏に座敷及び三室を擁する広大なもので，切妻造りの玄関にはサフラン酒の看板を掲げる。衣装蔵は破風にサフランの花弁，開口部の扉に龍などの動物を色鮮やかな鏝絵で飾る。離れ座敷は二階建入母屋造りで唐破風玄関を付ける豪壮な構え。広大な敷地には醸造関係の土蔵などを多数残し，良好な景観を形成。



② 防火を意図した鉄筋コンクリート造の真宗本堂

浄福寺本堂 新潟県上越市

明治の大火後，防火を意識し，鉄筋コンクリート造で建立された浄土真宗の本堂。桁行二四メートル，梁間一六メートルの規模で，エンタシス付の丸柱を配した向拝の両脇に，二階建の建屋を張出す独特の外観をもつ。一方，入母屋造り妻入りの大屋根や，内部を内陣，下陣にわけける平面構成は，伝統的な仏堂の形式を伝える。コンクリートで重厚かつ優美な内外観をつくり出す。



撮影：山崎昭広

③ 国史跡武田氏館跡にある近代和風のもと料亭旅館

旧堀田古城園主屋ほか5件 山梨県甲府市

甲府市の北部，国指定史跡の武田氏館跡の指定地内に所在するもと料亭旅館。主屋は平屋建寄棟造りで，庭に面してガラス戸を建て，背が高く，開放的な外観をつくる近代和風建築の好例。奥に北離れ，南離れ，茶室を並べ，茶室は平面を菱形とする数寄屋趣味の特異な建物。敷地北辺の景観を形成する長屋，表門である木戸門とともに一体として保存を図る。新築の展示棟とともに史跡のガイダンス施設として活用。



提供者：甲府市教育委員会

④ ^{ふじいこうじ}藤井厚二の設計による洋画家・^{おおたきじろう}太田喜二郎の住宅兼アトリエ
太田喜二郎家住宅主屋兼アトリエ 京都府京都市

関西の洋画界で活躍した太田喜二郎のアトリエ付住宅。太田は東京美術学校で黒田清輝くろだせいきに師事したのち、ベルギーに留学。京都帝国大学の建築学科で絵画講師を務め、同僚の建築家・藤井厚二に設計を依頼した。食堂を中心に、東に舟底天井ふなぞてんじょうの応接室とアトリエ、南にサンルーム、西に家政部を配し、とりわけ食堂の三畳大の上段じょうだんや長椅子などの造り付け家具、内壁の幾何学的意匠がくに、藤井の作風がよく示される。



⑤ 近世から近代にかけて整備された豪農の屋敷構え
溝手家住宅主屋ほか9件 岡山県都窪郡早島町

代々村役を務めた豪農の住宅。広大な敷地正面に長屋門ながやもんを開け、前庭を挟んで主屋を建てる。主屋は江戸時代中期に遡るとされ、入母屋造り茅葺きの屋根に入母屋造り鑷葺きの玄関しころぶを付した豪壮な構え。新座敷は良質な数寄屋風の普請で、ビリヤード場は本格的な洋風の設えを持つ。各土蔵は腰と四隅に海鼠壁なまこかべを立ち上げた岡山県南部特有の意匠を持つ。本瓦葺きの長屋門とともに豪農の屋敷構えを一体として保存する。



⑥ 久留米城跡近くに建つ格調高い大学本館
久留米大学本館 福岡県久留米市

旧制九州医学専門学校の本館として建築。九州に多数の作品を残した建築家・松田昌平まつだしやうへいの設計になる。平面はコの字型で、正面二階の中央に車寄玄関を設け、ロンバルティア帯たいで飾る。車寄上部を三連アーチ窓とし、両翼りやうよくは三層を貫く二連のアーチ枠を並べ、矩形の窓を穿つ。内部は三階中央を大会議室とし、ほかは廊下の両側に事務室等を並べる。ロマネスク様式ようしきを基調とした格調高い大学本館。



〈担当〉	文化庁文化財第二課	電話：03-5253-4111（代表）
課長	岡本 任弘	
課長補佐	田井 祐子	
登録部門	田中 禎彦、福田 剛史（内線 2797）	
審議会係	川口 雅之、川村 昌由（内線 3160）	